

平成21年度決算

企画課財政係【☎028(677)6031】

平成21年度の一般会計と特別会計の決算が9月の議会で認定されました。
歳出総額116億449万円となった平成21年度決算についてその概要をお知らせします。

一般会計

決算の概要

一般会計の決算額は、歳入が86億9,936万円の前年度と比べて5億1,668千円(5.6%)の減、歳出は76億4,704万円で、9億3,361万円(10.9%)の減となりました。

歳入と歳出の差引額は、10億5,232万円で、このうち4億951万円は平成22年度に繰り越した事業に充当するため、実質収支は6億4,281万円の黒字となりました。

歳入

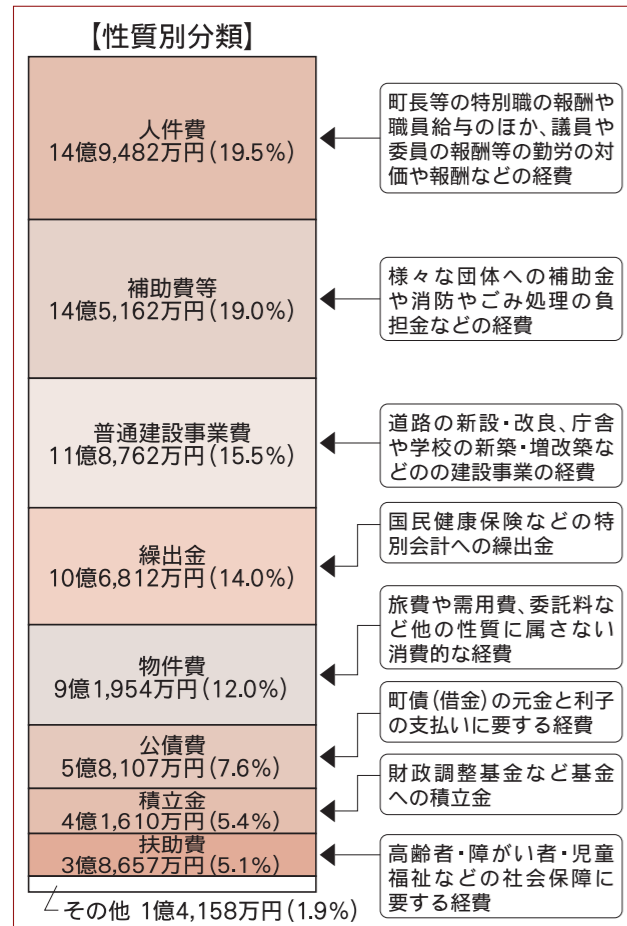
歳入でその占める割合が最も高いのは、町税で59億2,641万円、全体の68.1%を占めています。前年度と比べ1億9,605万円(3.2%)の減となりました。これは、町民税の法人税割が2億1,566万円の減となったためです。

このほか、繰入金が7,182万円で5億8,791万円(89.1%)の減となりました。これは、財政調整基金繰入金が5億円の減となったためです。

また、中学校大規模改造事業のために借入した町債は、1億6,850万円で7,030万円(29.4%)の減となりました。

なお、定額給付金給付事業費補助金により、国庫支出金は、6億6,248万円で3億395万円(84.8%)の増となりました。

町税や繰入金、繰越金、使用料など町が自主的に集めることができる自主財源は、69億3,628万円となり、その割合は79.7%になりました。



歳出

歳出を目的別にみると、総務費が最も多く19億5,659万円で、構成比は25.6%、次いで民生費13億4,110万円(17.5%)、教育費11億4,636万円(15.0%)、土木費11億3,780万円(14.9%)の順となっています。

前年度と比較すると、商工費が、工業団地用地取得費の減により4億5,505万円(65.5%)の減で2億3,959万円となっています。

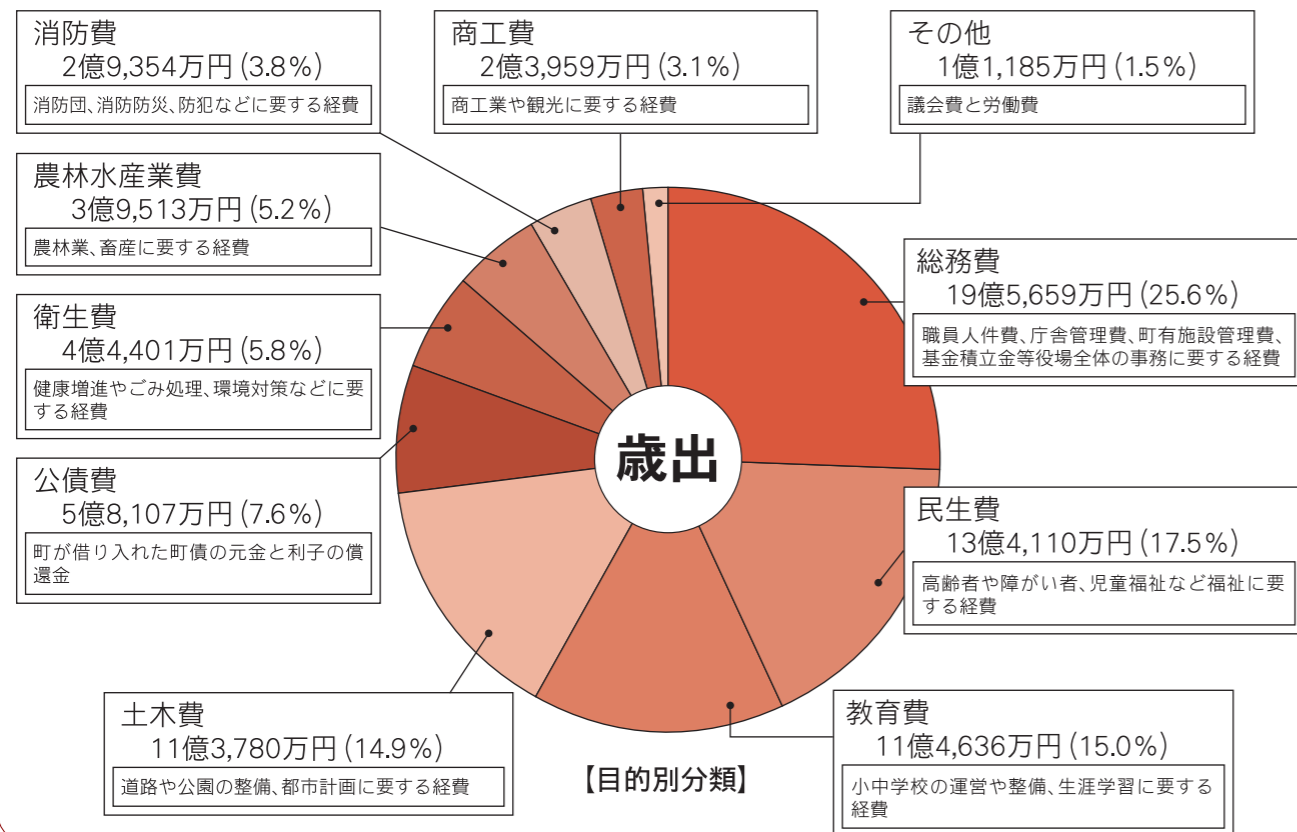
さらに、教育費が3億3,322万円(22.5%)の減となっていますが、中学校大規模改造事業の事業量が減となったためです。

次に歳出を性質別にみると、最も多いのは人件費で14億9,482万円(19.5%)、次いで補助費等14億5,162万円(19.0%)、普通建設事業費11億8,762万円(15.5%)の順となっています。

前年度との比較では、町民税(法人)の還付金の増や定額給付金により、補助費等が5億8,067万円(66.7%)の増となりました。

また、基金への積み立てが6億7,999万円(62.0%)の減で4億1,610万円、普通建設事業費は、9億5,491万円(44.6%)の減で11億8,762万円となり、その主な内容は、中学校大規模改造事業、町道新設改良工事および地方道路交付金事業となっています。

歳出 76億4,704万円



歳入 86億9,936万円

